暫定仕様

MetaData

デジタル地上波放送対応

データ放送チェッカー

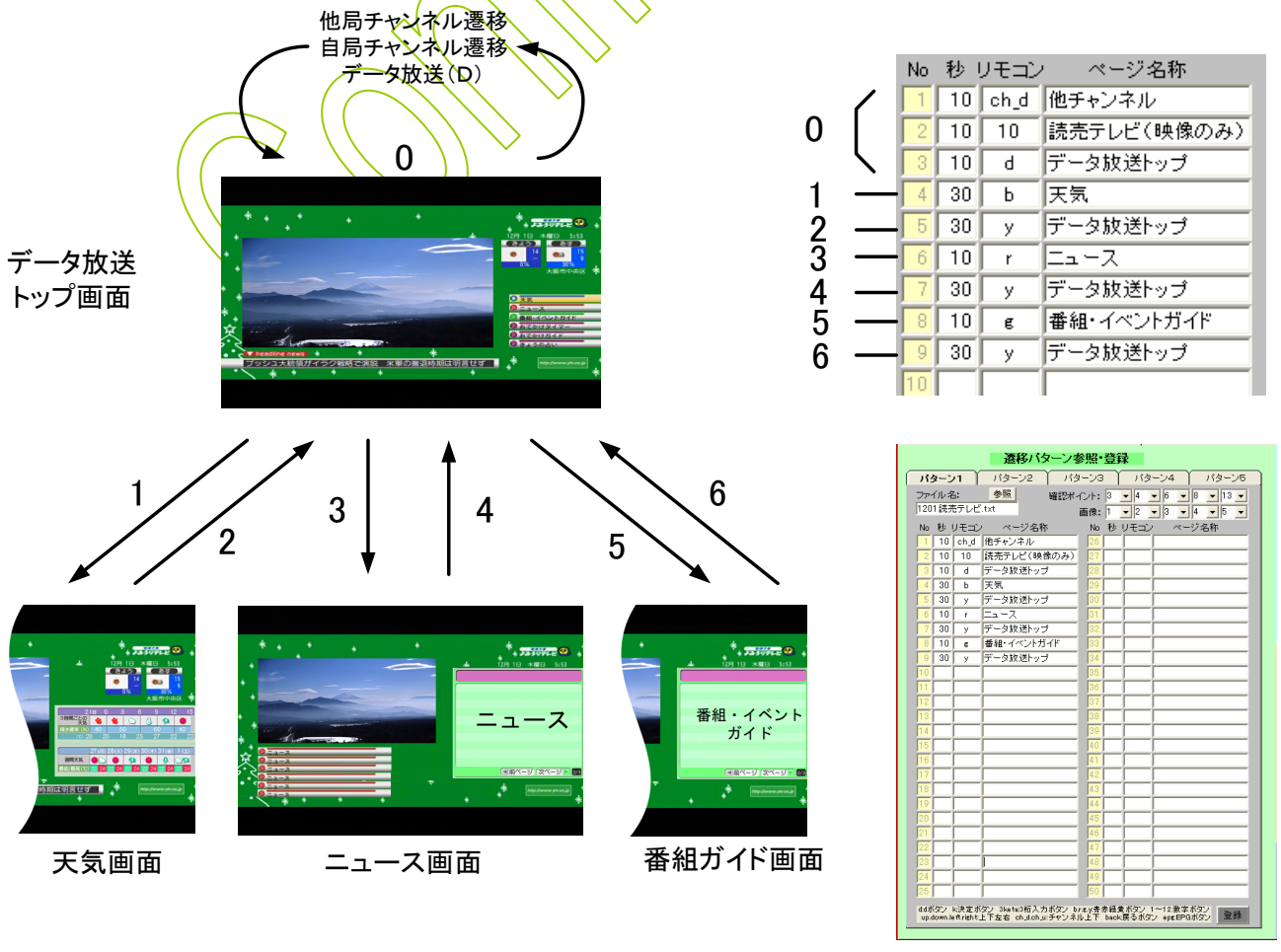
本製品は讀賣テレビ放送株式会社で開発したものをメタデータで販売、サポートしております

本装置は、データ放送の各ページを自動的に巡回し、データ放送が正しく表示されているかを監視する装置です。通常、データ放送はDSM-CCデータカールセルによる伝送を行っており、このため受信機のメモリに蓄えられたデータは送出が止まっても電源を切ったり、チャンネルを変えない限り保存され、データ放送は表示されたままになります。このため、放送局マスターでは一定時間毎に監視者がリモコンを操作してデータ放送が正しく表示されているか確認をする必要があります。また、さらにモジュール単位まで確認する場合にはリモコンを使用し各ページ毎の確認が必要となります。

■　データ放送監視の動作概要

１）記載された遷移パターンに従って各データ放送ページを自動的に巡回します。
２）　各ポイント毎（１～６）で受信機にエラー画像が発生したかを検出します。
３）指定したポイントで予め登録した画像と一致したかを検出します。
３）指定したポイントおよび時間に天気・ニュースが自動更新されているかチェックします。

【動作イメージ】

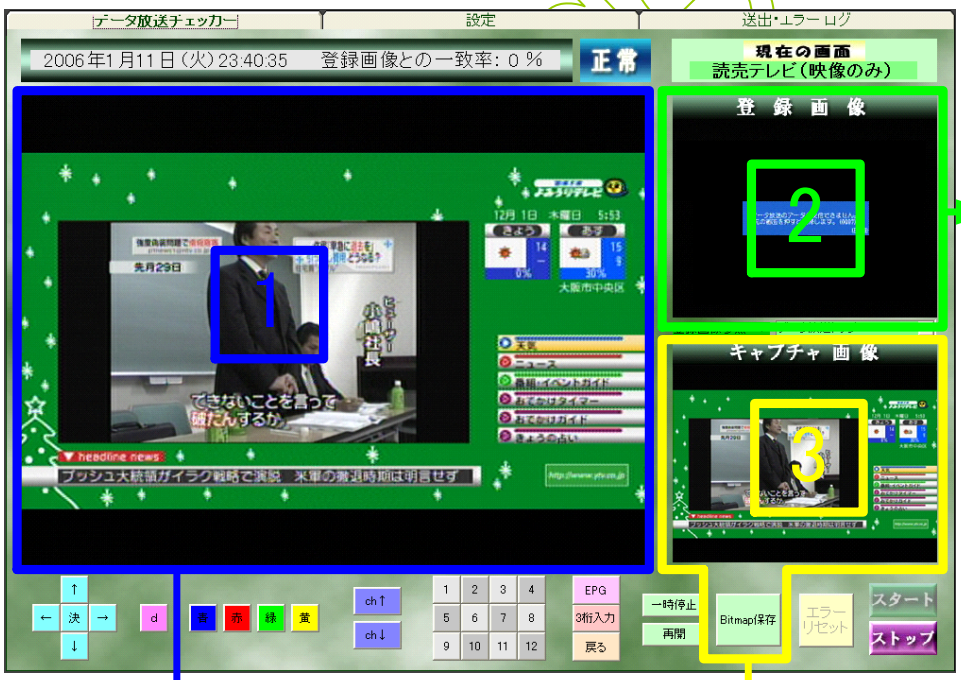


confidential

■ システムの特長

1） パソコンおよびパソコンの周辺装置として市販されているビデオキャプチャーボードおよび接点出力ボードを使用することにより、低価格を実現しました。
2）TS 監視では実現が困難であった、モジュール差し替え等で発生するモジュール単位の不具合いの検出が可能です。
3） 送出機の異常の他、プログラムミス等による遷移不能や編成の入力ミスによりデータ放送が表示されない等のエラーの検出も可能です。
4）使い易いユーザーインターフェースにより正常画像（最大 10 画像登録可能）の登録、自動更新画像（最大４画像登録可能）および遷移パターンの登録（最大で５０シーケンス登録可能）を簡単に短時間で行えます。
5）最大で５ポイント登録画像および自動更新画像との比較が可能です。
6）エラー発生時は画面、BEEP 音および接点によりお知らせします。
7）エラー発生時ログだけでなく、エラー画面も記録します。

■ データ放送チェッカー監視画面



2 登録画像
- 登録したエラー画面および基準画面と監視画面の比較を行います。

1 監視画面表示
- 遷移パターンに従って、各ページを巡回
- 登録画面と比較し、エラー検出

3 キャプチャー画像
- 比較を行う基準となる画像をBitmap保存します。
- 登録画面と比較し、エラー検出

■ 設定表示画面例

■遷移パターン登録

保持時間とリモコンボタンに相当した記号を入力するだけで簡単に遷移パタンを登録する事が出来ます。

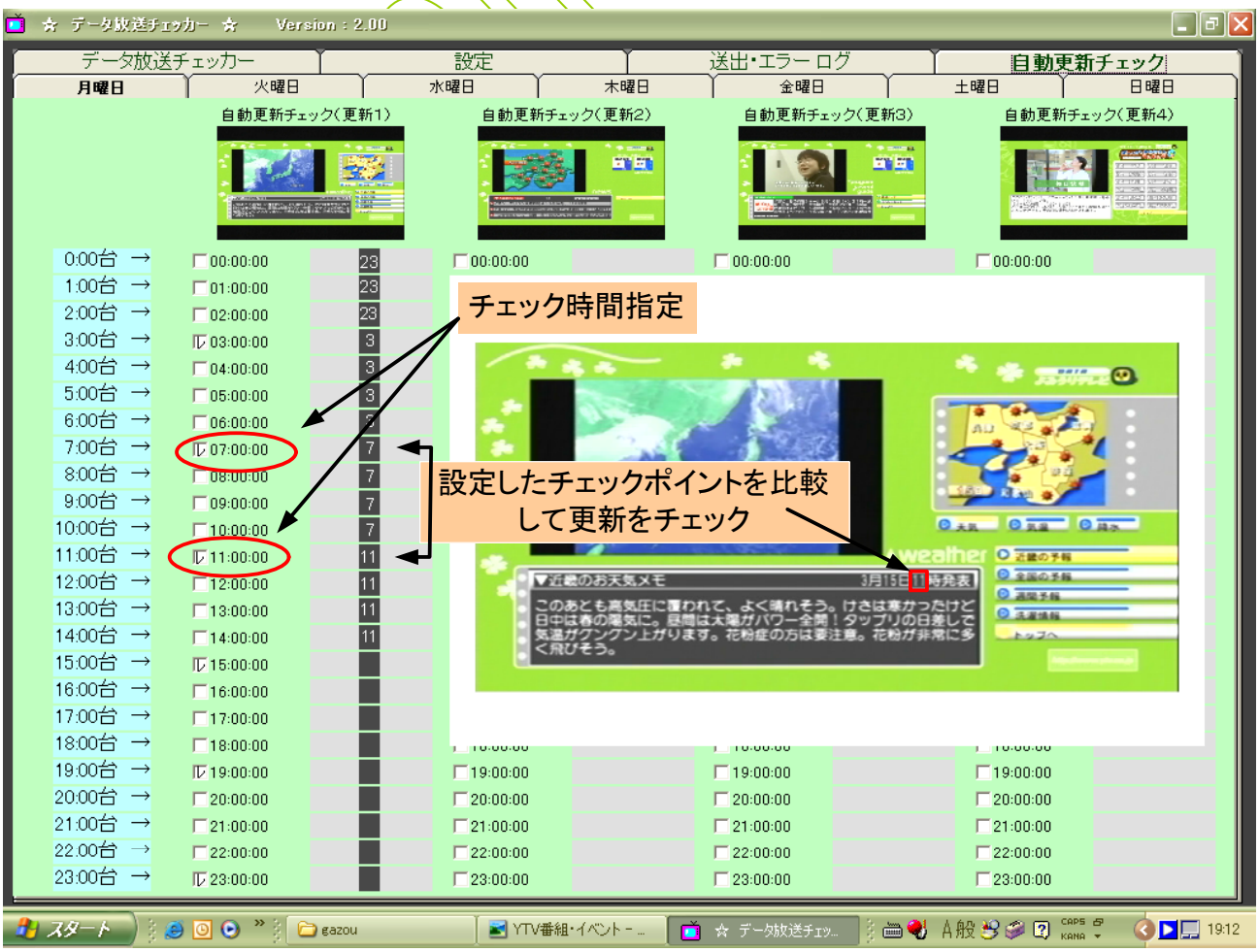
d	*:dボタン*	*k*	*:決定ボタン*
3keta	*:3桁入力ボタン*	*b. r. g. y*	*:青赤緑黄ボタン*
1～12	*:数字ボタン*	*up, down*	*;上下*
left, right	*:左右*	*ch_d, ch_u*	*:チャンネル上下*
back	*:戻るボタン*	*epg*	*:EPGボタン*

■編成登録

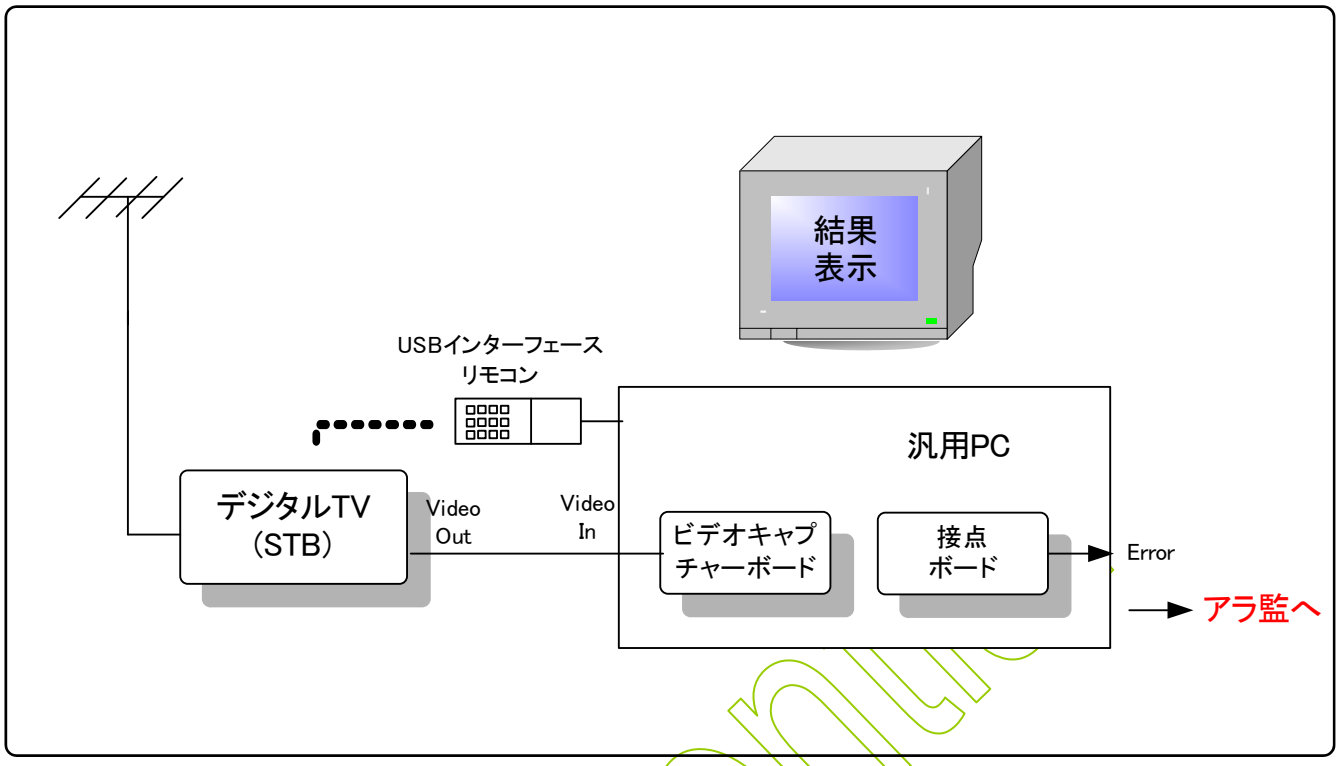
遷移パターンは最大10個登録することができ、１時間毎と10分毎で別々の遷移パターンを選択することができます。さらに、特別パターンとして曜日毎に５つの時間帯で遷移パターンを選択することができます。

■ 自動更新チェック機能

１） 天気やニュースなど自動更新されるコンテンツを選択し、遷移パターンを作成します。
２） チェックポイントを選択します。下記例では発表（更新）日時の時間を利用しています。
３） 自動更新される時間の前後をチェック時間として設定します。
４） チェック時間がくるとチェックポイントを比較し、自動更新が行われたか監視します。



■ 監視構成例



■ 予定価格

項目	内容	予定価格
ソフトウェアー	データ放送チェッカー	100,000-
ハードウェアー		238,000～
	PC、ビデオボード、リモコン	
	キーボード、マウス	
	インストールおよび初期設定	
	(デジタルTV（またはSTB)およびPCモニターは含みません)	
設置費用		別途ご相談
	北海道、東北、中国、四国、九州	
	関東	
	東京	
	北陸	
	東海、近畿	
	沖縄	

このカタログの内容は2006年09月10日現在のものです。記載内容はお断り無く変更することがありますので、ご了承ください。

MetaData

開発元：　讀賣テレビ放送株式会社
販売元：　メタデータ
Tel　:055-282-9330
e-mail :s_yazaki@cream.plala.or.jp